

どなたでも自由にとって下さい。



2015年夏・42号

信条・世に媚びず・枠にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行 〒583-0018

大阪府藤井寺市西古室 2-8-13
TEL・FAX 072-954-3312 吉田 進
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>

E-mail : info@kawaraban.ne.jp



まあ、可愛い〜い！ 人間も、サルの赤ちゃんも一緒。子殺し、親殺しが当たり前になった日本。悲しすぎる。そんな時、この写真を見て癒され、元気をもらっている。本来、人や動物の赤ちゃんや子どもらは、誰でも愛しく思うもの。だが、そうならないのは今の競争社会が、人々の心を蝕んでいるから。この写真で、心を暖め、笑って元気になってほしい。

CONTENTS

アメリカに媚びて日本で威張る ……………	2
橋下劇の幕は下りた 二幕目をあげさすな ……………	3
安保法案を問う ……………	4
国民へ改憲の是非を問え ……………	4
旅順要塞の203高地で愛国心を省みる ……………	5
TPP（環太平洋連携協定）の正体は？ ……………	6
NIMBYでなくYIMBYへのステップを ……………	7
ある男の死にざま ……………	8
上海在住日本人見聞録④ 日本人もビックリ！年中多湿の上海 ……………	9

日々の暮らしの中で 視覚障がい者が感じること ……	10
世界の国と街を訪ねて⑮ バルカン半島の国々 ……	11
歴史人物私談⑥ 大河ドラマ「花燃ゆ」 ……………	12
私が愛した街⑭ 変貌する渋谷 ……………	13
家庭でできる健康アジアメニュー③ ネン（ベトナム風揚げ春巻）…オーシロカズミ ……	14
ちょっと聞いて① ……………	15
恭子の日記③ ……………	16

安倍晋三

アメリカに媚びて日本で威張る あんたは一体どこの首相？

国民は私が大好きです
東京上野 成村一智

私は安倍晋三です。言うまでもなく国民は私を好いておられます。それが証拠に総選挙で改憲に十分な議席をくれました。

支持率も50%を越え、株価も2万円となり、かくして私を好いてくれた経営者も賃上げに応じてくれた。古来国民の皆さんは飯さえあてがっておけば時の政権に歯向かいません。歯切れよく強く何度も何度も語り、郵政民営化のようにアベノミクスを声高に唄えば、酔った気分の国民は何をしてもOKです。それに加

えて愛国心をちよこつとくすぐれば、もう私の思う通りになります。

原発再稼働反対が過半数でも、沖縄の民意が奈辺にあるうとも、官製株価であろうとも、紙幣をどれだけ印刷しても、そんなの問題になりません。国の存立が危ういときさえ勝手に言えば集団自衛権でホルムズ海峡にまで掃海に出動しても、米軍の代わりに我が皇軍に死者が出ようとも、憲法を改定しようとも、もう大丈夫です。

そんな体制を安保以後の50年でガッチリ構築してきました。野党が元氣な時代なら大臣の首が飛ぶような発言も、少し謹慎したフリをしたらおしまい。次にうまくその発言

の効力を発揮させます。70年談話はその総仕上げです。歴史の後戻りはもう許されませんぞ。

鳩派を追い出して党内基盤を固めたし、野党は弱小なることアリの集団の如しだから問題ナシ。ちよろい民意に追われて私が退陣するなんてことはありえません。

可能性としては、歯止めの利かない国家財政の破綻か、辺野古で一大流血事件が起きるか、自衛隊が本来の職務である皇軍の如く外国で戦争をするまでは、私は国民から長期に好かれ続けられると確信しております。

それにしても憲法9条を閣議決定でひっくり返すとは我ながらグッドアイデアでした

安倍晋三氏へのブルーレター

江東区 前島咲子

もしあなたがただの隣人だったら、つかず離れずのいい関係でいられたと思います。あなたは多分、親父ギャグの一つや二つ飛ばすこともできる、普通の人だと思

ところが、残念なこと

に、あなたはこの国の首相です。国の運命を託されている人なのです。だからか、「私の責任で」とあなたは盛んに連発します。国を背負う責任が、どれほど重く苦渋に満ちたものかを肌身で分かっている人なら、そんな言葉を軽々しくはいけません。

あなたが矢継ぎ早に進めて

な、もうそこまでできるのですぞ。ハイ。

先日、野党から「戦地で米軍と一緒に闘う自衛隊のリスクは？」と問われ、「無い」と答えたが、あるのは百も承知。「ウソも百べんで本当に」するのが真の政治家。それからウソが許されるのは、「日銀の公定歩合発表」と言われていますが、私もそれ。

新聞の世論調査では、この安保法案に「説明は十分が10%、不十分が81%」で、多数が反対だそうですね。さて。

法案成立は急務です。第一、僕は米国の上下両院で、その成立を公約済み。それがウソとなったら日本国民の恥ではありませんか。どうですか。

いる政策には、多くの国民が疑問を抱いています。集団的自衛権、特定秘密保護法、安全保障法制、憲法改正……。

国の根幹を大きく変える政策なのに、その中身を理解できている国民がどれほどいるでしょうか。「丁寧に説明して」といいながら、相手に考える時間を与えないやり方は、オレオレ詐欺の手法と同





じじやないかと、私は思うのです。
あなたが唱える「美しい国日本」にも、高い知性や理念を感じることはできません

大阪市分割の住民投票（いわゆる都構想）の開票特番は、近畿では総選挙並みの態勢だった。開票率90%を越えての公式発表では、賛成が反対を上回っている段階で、NHKが「反対確定」を報じ、一瞬目が疑った。テロップで賛成票多数が流れる中、反対派の勝利会見が行われるという異様な光景がアップされていた。1万票余の僅差だった。

橋下維新の一枚看板「大阪

ん。言葉はきれいでも、中身は空っぽで、独りよがりです。なんだか「裸の王様」と似ていませんか。せめて、異なる考え方に真摯に向き合

都構想」が否決されると政界を引退すると自ら潔く退路を絶った故に、維新の運動はもの凄く、全国から1000名の運動員を集中させた。一方、共産党と共闘するのかと保守派からクレームが付くほど他党も踏ん張った。

首相官邸は賛成派が勝って

橋下劇の幕は下りた 二幕目をあげさすな

大阪 三上弘志

橋下氏が発言権を増し、憲法9条破壊に協力してもらったかった。逆に平和憲法擁護派は、わがままご都合主義の橋下氏の息の根を止める為にも「大阪市が消滅して良いのか」と市民に訴えた。

堺市の離反あたりから何の為の大阪市の分割か意味不明になり、政令指定都市の権限さえ放棄する未来に、却って

う度量を持ったリーダーであってほしい。主権者である国民の一人として、そう切望せざるにはいられません。あなたの敬愛する祖父・岸

不安を広げた。「二重行政の無駄」が都構想のお題目だったが、橋下氏一流の大仰なこじ付けであったらう。理由は後から付け加えたが、二重行政なら横浜も京都もみな同じだ。

もっともデビュー当時、一

気呵成に住民投票まで突っ走ったら、生煮えの都構想でも過半数の支持を得られたかも知れない。しかし、次第にメッキがはがれ公募校長や公募区長や維新議員の失態や離反が続いた。不十分な行政構想の故に他党に理解を得られないまま、維新の体制立て直しを図る為に都構想選挙に賭けた結果、負けたわけだ。東

信介氏と親交があった加藤シヅエ氏は、良心的な仕事をした政治家に、党派を問わず「よくやってくださいます」とピンクレターを出した

京に対抗したい都構想は橋下氏の個性と相まって大阪市民の誇りをこそばすには大きな魅力だったはずだ。

この選挙では元橋下陣営の竹山堺市長等も反対に回った。住民投票で賛成が多くても大阪都になるわけでもないし、区役所建設資金などで

税金の節約にならないなど、現実を前にするとためらいが多かったに違いない。今回は公選法枠外の投票だったので憲法改

正の予行だという説もあったが、やってみたらこういうこともできる!? ということもあったし、これは止めとかなとアカンやろうという事柄もあり、数々の教訓を残したのかも知れない。

反対派の中でも国会同様、辻元清美さんの活躍は目を見張るものがあった。「最後の追い込みには涙を流

ていました。私は、あなたに、「不承知です」とブルーレターを送ります。

す」くらいでないとアカンと、自民党の議員らをも鼓舞したとか。投票の2日前から「怒れる女子会」として駆け回った迫力は、パフォーマンス用に特設舞台を載せた橋下市長の選挙カーに負けにくいらいだった。

敗戦の結果、「稀な政治家に引退を及ぼした」責任をとって維新江田代表辞任という副産物を生んだ。確かに好き勝手を声高に叫べる感性は稀な才能だろうが、それに大阪府民は翻弄されてきた。橋下騒動は大阪都選挙の敗北で終焉を迎えてもらいたいものだ。

それはともかく「大阪都構想」への期待であった無駄を無くすという当たり前のこと、住民参加や直接民主主義的手法等、受け止めるべきことをしっかり具体化する首都圏と異なった京阪神構想があってほしいものだ。

安保法案を問う



安保関係法案の賛否を問う世論調査で賛成28%、反対61%だった(7月6日毎日新聞)。政府の安保関係法案は違憲、「戦争法案NO」の意思表示に他ならない。憲法を変えるのは国民であって、国会議員ではない。政府の解釈憲法で戦争への道、集団的自衛権を許してはならない。たとえ彼らが、数の力で同法案を決めても「悪法は法ではない」と、その無効を訴えていこう。

平和憲法を勝手に変えるな
「Life Crossing」編集者

6月4日の衆院憲法審査会で、与野党推薦の憲法学者3人がそろって安保関連法案は「違憲」と発言した。慌てた菅官房長官は「数の問題ではない。合憲学者はいっぱいいる」と、まるで子どもものケンカの如く反論。一方、安倍首相は、「国際情勢に目を拂り、従来の解釈に固執するのは政治家としての責任放棄だ」とピントはずれの逆切れ発言を行なった。

1972年の政府見解は、「憲法は自衛の措置を禁じて



いないが、それは最小限にとどまるべきで、集団的自衛権の行使は許されない」であったはず。それが今度は、国際情勢が変わった。集団的自衛権は「許される」に変わった。

政府は4月、日米防衛協力のガイドラインを日米双方で決め、安倍首相は米国の上下両院で、そのガイドラインを実行する安保関連諸法案の成立を約束。万雷の拍手を背に帰国したが、国会審議が始まる「案」の段階で、米議会で公約するなんて、一体、彼はどこの国の首相なのかと思っ

てしまう。もともと、平和憲法といわれる日本国憲法第9条は、別に憲法学者でない普通の国民でも「読めば分かる」。分からなくしたのは、「超法規的自衛権は固有の権利」とする解釈から。憲法を変えるのは、国民自身であることを忘れてもらっては困る。安保関連法案は、改憲するのが先決だろう。

また、日米軍一体で世界各地で戦場へ出るというこの安保法案は、自衛隊員のリスクや戦費の問題など何も明らかになっていない。法案が通れ

ば、確実に自衛隊員が戦死し、戦費もかかる。われわれは、その行方を探らねばならない。

こんなダメ議員は日本の恥

安倍首相を担ぐ自民党チルドレン37人は「6・25憲法改正推進」勉強会で、言いたい放題。「安保法案に反対するマスコミを懲らしめるには広告収入をなくせばよい。経団連に働きかけろ」(大西英男)。百田尚樹講師は、「沖繩の2つの新聞はつぶさないといけない。沖繩のどっかの島が中国に取られたら目を覚ますだろう」「米軍普天間飛行場は田んぼの中だった。商売

国民へ改憲の是非を問え

大阪 茨木市 山下けいき

安倍政権が国会を9月末まで引き延ばした。「自衛隊を米軍の下請け化する」戦争法案を成立させるためである。

与党が推薦した学者までもが「法案は憲法違反」と明言、反対するアピール文には憲法学会などの学者・専門家が7千名も名を連ね、安倍政権

になると周りに人が住みだした。騒音がうるさいというが、選んだのは誰か」とお子様まがいの論議。こんな連中が国会議員だと思つくと、悲しくなってくる。百田センセイをNHKの経営者委員に選んだのは安倍首相自身。彼らと首相は気脈の通じた仲で、首相の「事実なら遺憾」ではイカン。発言者へ、トカゲの尻尾切りの処罰ではすまされん。安倍首相の安保政策は、米アミテージ「対日レポート」にそっくり。われわれは、今回の安保戦争法案と、沖繩辺野古への米軍基地建設とは、日米合作のシナリオであることを知らんとアカン。

との全面的な対立の観を呈している。どの世論調査でも反対が賛成の2倍となり、説明不足だとの声も8割を越している。当然のことながら内閣支持率も急降下である。憲法学者の98・5%の200人以上が違憲との見解だが、安倍首相は自分の意見が正しいと主張する。

国会周辺は連日反対のアピールが響き渡り、全国各地で市民の動きが澎湃と湧き上



がっている。

安倍政権が執着する戦争法案は、歴代の自民党政権ですら集団的自衛権は憲法違反として認めてこなかったのに、立憲主義、法治主義に反する政権だ。因みにヤフーで「安倍政権」で検索して出てくるのは「支持率」の次に、独裁、崩壊、戦争、反対、デモ、批判、危険と出る。

さて、「安保法制」といわれる戦争法案。「安全保障環境の変化」というが、何が変化したのか、それと法案がどのように関わるのか？

90日の延長は衆議院さえ通せば参議院でうまくいかなく

ても60日後に衆議院の3分の2で再議決を狙っている。

安倍首相のいう新三要件なるものも、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」という9条1項に違反しているのは明白。

秘密保護法に、共謀罪、盗聴法、沖縄辺野古への米軍基地建設、TPPに原発再稼働に加えて、最近は生涯派遣に残業代ゼロといった労働法制の改悪、文科系学部は廃止、大学でも「日の丸・君が代」の強制、マスクミへの恫喝と懐柔、安倍チルドレンの「経団連を使って言論統制」・・・

原発の売り込みだけでは足らず、武器輸出三原則を廃止し、武器商人として海外へのトップセールス外交。米国の相手として、世界警察の下請けとして戦争参加は、まっぴらごめんだ。(7月4日時点)



旅順要塞の203高地で

愛国心を省みる

東京 江東区 三田栄孝

大連から日露戦争の激戦地203高地を登り旅順港を眺望した。

ロシアの鉄壁の要塞を奪取して203高地からロシア艦隊を砲撃するために日本兵は正に肉弾で突撃を繰り返した。無数の兵士がバタバタ倒れても屍を乗り越えて要塞に向かわざるを得なかった。結果、ここは御国を何百里という軍歌戦友や、乃木將軍作「山川草木」の詩吟が生まれ、1万余の人命が失われ、將軍自身は二人の息子も戦死させた。彼等は国の為に戦って死んだ。国家は国民に死の

「安保法案」は戦争法案。反対の声は全国であがっている。連日、国会周辺で、また政治に無関心と言われる若者が、東京で4000人、京都で2000人、札幌で700人と立ち上がっている。



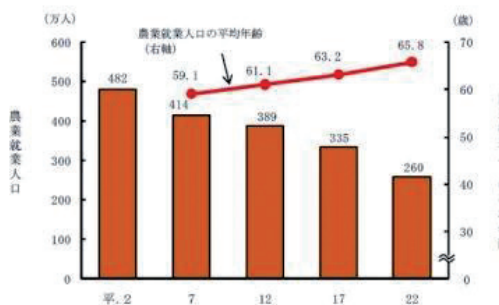
犠牲を要求する為に愛国心と靖国神社を呼びかける。いざとなれば愛国心は全てに優先する。愛国心とは他国より自国を愛することである。それが他国の利益より自国の利益を優先することである。つまり

るところ他国の言い分を聞かないで自国の主張のみ声高に叫ぶことになる。要するに個人でいうなら《我がまま勝手》を通すことだ。相手の気持ちを理解しなければ、他国の言い分も聞かなければ、仲良くなれないし、外交もできない。《自分勝手》と《愛国心》は喧嘩と戦争の原因に他ならない。個人の《自分勝手》は周りからクレームが聞こえてくるから反省もするが、国の《愛国心》は周りで

増幅してますます相手国を憎悪することになるので自戒すべきだ。

生物の世界で人間種のみ理性と話し合いで問題を解決できる。いかなる動物も腕力だけでしか問題を解決できない。動物が平和的に解決したなんて争いは聞いたことはない。人類もほぼ同じだったが、文明と理性が少しづつ昂じてきて、話し合い交渉による解決が増えてきた。それを邪魔しているのが《自分勝手》と《愛国心》であるが、哀しいかな自分勝手さも愛国心による偏見も気が付かない人が多い。武力で解決しようとするのは動物並みのレベルと知るべしだ。戦争の最大の被害者は戦死者だ。

農業就業人口の推移（全国）



このままで良いのか日本農業

農は国の基本というが、日本は国土が狭く農業世界戦略の中では（「農」は日本人の心、文化であり「業」となると職業）適さない。したがって、競争力に欠ける。貿易が自由化となれば日本の農産物はひとたまりもない。また、農林水産業といった第一次産業は、日本のように労賃の高い国では衰退し続けると考えられている。日本の農業は「弱者のイメージと将来性への危機感」がつかまとう。

ただし、水田の保水力、国土保全、農村の自然景観、農村の歴史・祭りなど。「農業」と「農」そのものとどのように折り合いつけていくか？

TPP（環太平洋連携協定）の正体は？ 勝ち組わずか1%の不平等条約

新潟 三条 山井 秀榮

弱者切捨ての新自由主義

「自由貿易は600社1%の多国籍企業を利する。そのために99%の国民が犠牲になるのはおかしい」と、元農林水産大臣山田正彦氏は本県で熱っぽく講演され、私も同感の意を強くした。

欧米が10年前から進めてきた道、英国のサッチャー元首相や米国のレーガン元大統領の政策（サッチャーリズム・レーガノミクス）を日本も進もうとしているのではなからうか。正に弱肉強食であり米国の食糧の植民地となるだろう。TPPは農業問題だけではなく国の形態を変えるものであり、米国の多国籍企業がアメリカの経済ルールを世界ルールにしようとするものです。市場原理主義による経済

的な不平等が深刻になることは容易に想像できる。

忘れられた国際協同組合年の精神

国連は協同組合を評価し、2012年を国際協同組合年（IYC）と定めた。協同組合は人と人との結びつきによる非営利の協同組織だ。協同組合の経済社会への貢献を高く評価して、過当競争を防止し、不平等取引防止と適正価格での商取引などで均衡ある発展のために定められた。しかし安倍政権はこれとは真逆の市場原理主義への道を選択し、農協活動を阻害し続けている。

農民の嘆き節が聞こえる

山間地の農地集積は受け手がいなくなり、耕作放棄が拡

大している。特に20ヘクタール位の法人は苦しい。生産組織の昨年決算は大赤字で、委託者からの耕作依頼も切り捨てざるを得なくなりつつある。コメ消費減退、価格の下落、生産費の高騰と外圧など逆風は強まり、コメ王国の本県も風前の灯だ。

以下は安倍政権へ国民が疑問視していること。

- 1 日本経済の成長にとって協同組合はジャマな存在ですか？
- 2 日本農業が産業として自立できないのであれば、農業は潰れても良いと考えていますか？
- 3 世界的な異常気象のもと、国民の安心・安全な食糧を保証できますか？
- 4 遺伝子組み換えの種子並びに食品の輸入を水際作戦で防止できますか？

安倍政権は口癖のように「アベノミクス効果を津々浦々に届ける」というが、実質賃金は下り続け、格差の拡大、非正規雇用の増大と、経済は光と影に二極化し、「弱者をくじき、強き者の味方」

の政策ばかりではないか。

新農政は「農家の所得倍増」ではなく、農業分野に参入した「企業の所得大幅増」になるのだ。これでは農村の荒廃が進むのは明らかである。

米韓FTAから学ぶべきこと

- 1 韓国医療費が2倍になった。特許期間の延長と米国の製薬メーカーが薬価を吊り上げたからだ。よって豪州らの国民も医薬品が2〜3倍になると反対している。
- 2 オバマ大統領の医薬保険改革を検証し、日本医薬市場を狙う米投資家らの動きも要警戒だ。
- 3 米国より進んだ日本の国民皆保険制度を破壊されないように注意しなければならない。
- 4 韓国は既に牛肉関税の完全撤廃協定を結んでしまったので、逆戻りはできない。世界に誇る日本の霜降り牛肉を守れるだろうか。



NIMBY ではなく YIMBY へのステップを

「共生庵」 — 地球市民共育塾 — 主宰

広島県 三次市 荒川 純太郎

最近気になる言葉がある。

それは「NIMBY」(Not in my Backyard) の略。自分の裏庭以外なら結構の意だ。

「施設の必要性は認めるが、自らの居住地域には建てないでくれ」と主張する住民たちやその態度を指す言葉として使われる。原発や軍事施設、ゴミ処理場、刑務所、下水処理施設、老人介護施設、障がい者のグループホーム、葬儀場などの「迷惑」施設の設置に「必要なのは分かるが自分のところに作られたらイヤだ」と言っていることを「NIMBYシンドローム(症候群)」と表現する。

「総論賛成・各論反対」という態度の背景にこれがあります。自分の住むコミュニティで精神障がい者のグループホームを作ろうとした女性活動家の闘いがテレビで紹介されたのを観て、この言葉に出会う。地域エゴ丸出しの反対者に激しい義憤を覚えたものだ。抵抗にあり、中止させられるケースは全国各地にあるという。

根底にあるのは普遍的課題で、自分の心の奥底に潜んでいる。「自分がそれに直面し



農業と自然と共生する共生庵。
共生庵については、共生庵で検索してみてください。

たらどうなのか」を問うた時、自分の身に降りかかってくるような事態になれば、逃げだし始める自分の身勝手さ。そんな自分に嫌悪感を持つてしまう。もっともらしい理解を示しながら、うまく責任を逃れようとするずるさが顔を覗かせる。面倒だ、イヤだ、避けたい、自分の庭にはやっかいな課題は持ち込みたくない、怠けたい、ゆっくりにしたいという思いが頭をもたげる。

さまざまな取組むべき課題が次々と提起され、それらの情報を読みこなし、できると

ここで関わろうとする。が、そこで自分がやっていることは、せつせと自分の庭先から問題を外へ運び出そうとしているのではないか。自己保身する自分を見て情けなくなる。

もう年だから…忙しいから…身体がついて行かなくなつたから…車を運転していくのが億劫になって…など言い訳するのに、なんでも言い訳をひっぱり出して身をかわず消極的引つ込み思案。自分はい体どうなってるのかと思ってしまう。

11月初めに自分の不注意で、右手中指の第一関節を

電動丸鋸ですつ飛ばしてしまいました。これにはさすが(?)の私も心がへこんでいます。傷は癒されたのですが、一番目立つ利き手の中指なので、意識せざるを得ません。何とも格好悪いことで情けない。自分のいい加減さ、軽率さ、中途半端さ、無責任さ等を常に反省させられます。

それでも「よかつたねえ、それだけで済んで。これからは同じような体験をした人に寄り添えるようになったんだから」といわれて、自嘲的にそうなんだと納得しています。指先が2〜3cm短くなっただけで、出来なくなつたことや不便さを日々体験させられています。そんなことも少しは影響しているかも知れません。エエかつこうしたり、話したりしているくせに、「結構なことだけど、俺の庭先にはしないでくれ、出て行ってくれよ」と心でそう思っている自分の醜さを感じています。

No! ではなくYes!
「YIMBY」(Yes, it's a good idea)だよ、ウチの庭へ」と切返し、踏み出せるようになりたい。

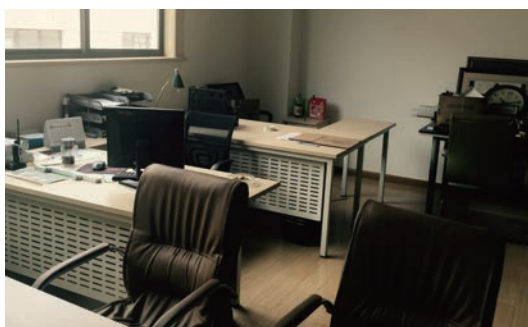
ある男の死にざま

生きた証の鎮魂歌として

数々の不行跡の末

臍臓癌を宣告された

仕事上の知人の男が職場の上海で臍臓癌に侵され、日本の顧客の紹介で大阪の病院で末期の療養を続けていた。昨年、上海に見舞いに行った折には、後三年の命だと言われたと私に語った。六十過ぎの彼は日本では数々の不行跡を働いていたので嫌っている人が殆どだと周りから聞かされていたが、本人からはまとも



彼の死後、上海の彼の会社を訪問。彼のデスクがあった

に聞かされたことはなかった。幸い、上海時代には私はつかず離れずで付き合っていたので、そう大きな迷惑をかけるられることはなかったが、彼の口のうまさというか、良い顔をする言動、約束の不履行などは幾つか実感していて、また言っているなど見過ごしてやることが度々あった。

新たに上海で会社を立ち上げたが、古い商売仲間は「3年持たないだろう」と評していた。もう五年近くなるが、彼の会社は営業を続けており、世話になっていると部下の後輩は感謝していた。

死が近いだろうと思い、昨年の晩秋夕方から紅葉を見に行った。京都は久しぶりという彼は「こんな見事な水面に写る紅葉は見たことはない。来年も来たい」と。おやおや。

家族絶縁状態

部下らが面倒を見た

年が明けると「上海の仕事



昨年、彼と2人で京都醍醐寺の紅葉を見物。灯りの下にある池の底から紅葉が水面に枝を突き出すように見えた。その風情に来年も来たいですねと彼は言ったのだが

が気になる、僕にとって上海は旅行というほどのことはない」からと出かけていった。大丈夫かなと心配したが、部下から「会社にとって理解できない言動を」働いて帰ったが、恩になった彼のことは最後まで面倒をみる覚悟との電話があった。

2月、上海の彼の部下の中国人が家族との連絡に来阪したが、誰も相手にしてくれないと嘆きのメールが入る。私も家族に連絡を取ったが、死に目の肉親に対し絶縁状態を家族は強調した。葬式は？お

墓は？遺骨は？と聞いても関知しない、関係ないそうだ。

それだけ彼は勝手な言動で迷惑をかけたのだなと痛感する。彼の現在の大阪の得意先の

工場の部長が病人の身の回りの世話をしてくれているので、電話で聞くと「医者診断で彼は自分の言動が他人に悪害を及ぼしているのを自覚できない心の病いを持っている」と聞かされて納得した。「ナルホド、どれほど迷惑を掛けても本人はそう悪いことをしてきたという意識が低いわけだ。勝手な、都合のいい、

迷惑な変な病気もあるものだ。

死を前にした

虚飾の言葉

3月に入ると「もう桜は見られない」と医者に告げられたと元部下は身辺整理に再度大阪へ。7日、部下から「本当に天涯孤独になったままで、その日に向かって行くと思いますので」と私に電話を頼まれる。死を前にした人に話す術を知らないので躊躇し、死の恐怖を訴えられたらどうしようかなどと迷ったが、会話になるうちにと携帯を取った。

意外に死を前にした人の言葉でなく虚飾の言葉だった。親族への強がり、費用は国がみてくれる、この1ヶ月間の入院も余病のせいだったと語った。私は手の施しようがないから退院させたと聞いていた。最後は看護士らも彼の話をうわの空でしか聞かなくなったそうだ。

そして、桜を見ぬ間に逝った。関東人の彼は無縁仏として今は天王寺の一心寺に眠っている。合掌

上海在住日本人見聞録 (4)

日本人もビックリ！年中多湿の上海

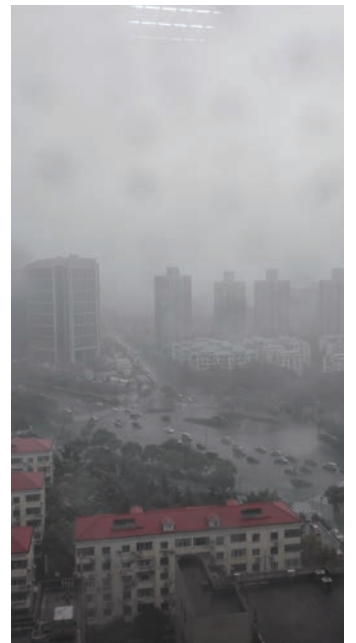
駐在員の妻 吉松景子



この原稿を書いているのは6月の梅雨真っ最中の上海。以前の寄稿で、我々が住む古いマンションが、あちらこちらにガタがきており、天井からの水漏れやカビに侵食されてしまったことを書いた。しかしあれから1年、今年は昨年以上に、突然の暴雨（しかも数日降り止まない…）が上海で何度も発生。我が家も昨年修理した場所とは別の天井から水漏れ発生中。今も、水漏れする場所に洗面器を置いて、

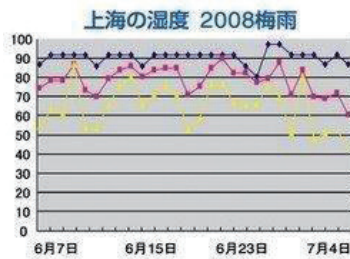
ポタポタ…というなんとも情緒あるリズムを楽しみながら、原稿を書いている。私がこの1年半の中国生活で実感したこと——。それは言葉よりも、空気よりも、食事よりも、何よりも、この「湿気」が一番やっかいで辛いということ。

あまりにも湿気を感じるので、前回の帰国時、日本からわざわざ湿度計を持ち帰った。しかし、最近はどうも湿度計を見るのも嫌になる。

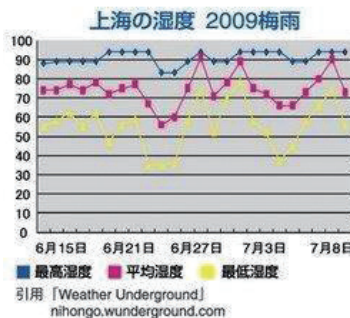


なぜなら毎日90%以上しか指さないから…。しかも風が抜けやすい木造住宅にもかかわらずである。言わずもがな、鉄筋のマンションなんかはもつと通気が悪い。そもそも換気扇以外に、日本のマンションには普通ついている「通気口」のようなものが存在しない。さらに空気が汚いとなると、窓を開けることも憚られるので、換気、通気といった点では、さらに都合が悪い。なので、夏になると駐在者からよく聞く愚痴は「気づいたらカーテンの後の壁がカビていた」「カビの匂いが取れない」などが大半を占めている。

ここで不思議なのが、こんな多湿の上海で、必需品である除湿機が一般家庭に全く浸透していないのだ。今年「爆買い」という言葉が大流行した。インターネットで調べてみると、中国人の「爆買いランキング」に除湿機は入っていない（一番多いのは医薬品や化粧品、次いで温水洗浄便座、炊飯器など）。



もちろん中国は広いので北京などの北方は真逆の乾燥エリアだが、上海より南の沿岸地域は似たような気候である。にもかかわらず、家電量販店では、除湿機の種類は少ないし、それよりも「加湿」機能付きの空気清浄機が、フロントを陣取っている。上海



るらしい。かくいう私も、「水毒」のせいにして、日々の家事や、中国語の勉強を怠りがちだ。脳みそさえもカビてしまいそうなこの上海、運動や健康的な食事で乗り切れないのだが、日本の家電企業に、「除湿」付き空気清浄機の大々的な量産と、リーズナブルな輸出を何ともお願いしたい。

の中国人はエアコンのドライ機能で十分満足なのか？と疑問なのであるが、今のところ中国人の友人に聞いても、カビを防ぐのに有効的な生活の知恵が聞こえてこない。

雨のこの時期は、人体には余分な水分がたまりやすくなるという。中医学でいう「水毒」というこの身体の状態は、体内の水分の流れが滞り、うまく排せつされなくなり、水太りや冷え症につながる

大阪市中央区

馬場

正雄



(左)
ボスニア・ヘルツェゴビナのモスタルにて。右に修復した建物、左に被害のままの建物、前に今年の5月6日にローマ法王が来るのを歓迎する看板、山の上に十字架が見える。

(上)
内戦で恐ろしく砲撃破壊されたビル、後ろには人が生活する建物も。戦争とはここまで破壊する狂気と恐怖の産物である。モスタルにて。

バルカン半島の国々

バルカン半島って何処？
かつて非同盟を呼びかけたチトー大統領が率いるユーゴスラビア連邦が半島の大半を占めていたが、チトー亡き後、連邦が崩壊し元の6つの国に分離独立すべく次々と戦争を繰り返した地域で、最後にセルビアだけが残った。セルビア人が他の国の独立を反対しての戦争だったと言えよう。

遠い日本人にはどこどころのどんな戦争かも分からなくなっていた。おまけに元々、セルビア国(990万人)内であったコソボ(アルバニア人)まで15年前のコソボ紛争で独立(220万人08年独立)した。NATO軍の78日間ベオグラード空爆もこの紛争時だった(以下人口は2010年世界人口白書より。数字は独立年度)。

バルカンの歴史を紐解くと国家、国境などはしょっちゅう変わっている。国境などはなかったに等しい。現在の国家、国境も便宜的なものと考えても不思議でない。今後の火種は他にも色々ある。ボスニア・ヘルツェゴビナ(380万人92年)の首都サラエボで、タクシーの運転

手に第一次大戦のきっかけになった皇太子暗殺現場と大統領官邸を案内してもらった。「大統領は誰？」と聞くと会話ミスか「3人いる」と矛盾した返事だ。しかし、調べてみると内戦を終結させる話し合いで、クロアチア人、モスリム、セルビア人の3つの勢力の代表が8ヶ月交代で就くことになっているようだ。ガイド氏は「直ぐに交代だから仕事は何も決まらない、進まない」そうだ。その国の内にセルビア人自治共和国があって更に不安定な存在に思える。

サラエボでは内戦時、スナイパー通りと言われた全てのビルに狙撃兵が配置され、動く物は全て撃つと命令されたとか。現在も各都市には砲撃により、廃墟の如きままの建物が随所に見られる。市民は平気な顔をしてその前を歩くが、心も住まいも生活も命もどれだけ傷めつけられたことか。5年前にサラエボに来た人の話では「街の3割が廃墟、2割が修復かその工事中」だったそうだ。人々は戦争を後悔しているのか？仕方なかったのか？止められなかったのか？

バルカンの地は中世以降でも北方からのオーストリアのハプスブルグ帝国、南方からはオスマン帝国が、更に直接接したりブルガリア、ルーマニア、ギリシャをも含めて色々な小国が境界地域に現れたり消えたりした。これにはセルビア人、アルバニア人(国320万人)、クロアチア人(国440万人91年)、マケドニア人(国200万人91年)、ロマ(ジプシー)人の民族が、カソリック、ギリシャ正教、イスラム教が絡み合って愛憎と戦争を繰り返して来た。

バルカンの国々は未だ国境、民族、宗教、経済問題など根本的に解決できたわけではない。現在は理性と国際社会の圧力で沈静から安定への努力をしているところである。今も世界の火薬庫かも知れない。因みにユーゴスラビアとは南に住むスラブ人の国の意味で、上記外にモンテネグロ(60万人06年)とスロベニア国(200万91年)の6ヶ国が分離独立した(※アルバニアは別個の独立国で、コソボ国はユーゴ時代はセルビア国の中にあつた)。

大河ドラマ「花燃ゆ」

なぜ倒幕維新に吉田松陰 長州藩は最大の働きができたか？

東京 原野 通有

今の山口県全体が毛利藩37万石だったが、この藩ほど幕末に激動し活躍した藩はない。自分が1830年産まれ、松陰と同じ年に萩の中級武

士くらいに生まれていたら面白い時代を生きられたらどうかと想像したくなる。「幕末の人物」でウィキペディアを検索すると幕府が85名、薩摩



高杉晋作旧宅 松陰の双壁と言われる弟子。奇兵隊を組織し長州藩だけで幕府軍に負けなかった戦略・戦術が長州を維新まで導いた。



吉田松陰が投獄された野山獄は街中にあった。一部が記念に残されて石碑が建つ。道の反対側に下牢の岩倉獄がある。ここで密航の失敗の弟子金子は獄死した。

が50名なのに長州がダントツの125名だ。幕末明治維新は長州の動きが中心だったと言って過言ではない。

21世紀の我々が冷静に松陰と毛利藩の動きをみると、松陰が脱藩したり、無計画で密航しようとしたり、自ら罪を認めて出頭するなど、狂気にも似た異常な行動が重なって見える。七卿都落ち、英国公使館焼討ち、禁門の変、4ヶ国艦隊下関砲撃、藩内戦争、二次の長州征伐、戊辰戦争と繰り返して、朝廷や幕府を始め「会肝薩賊」と周囲を皆、敵に廻した時期もあった。

それは一途に国を憂い直情にして行動的な、吉田松陰の思想と行動が大きく影響していた。「国賊」で処刑された松陰が偉人、教育者、松陰先生とまで尊称されるまでに復権したのは義弟の久坂玄瑞等の活躍に負う。松陰の辞世の歌「身はたとひ武蔵の野辺に朽ちぬとも留め置かまし大和魂」(もしこの命が武蔵の野辺で果てようとも、自身が貫いた思想や熱情は永遠に留めておきたいものだ)。

私は愚直なまでの自分の生き様を貫いた松陰は「松陰四

天王」始め若者に与えた影響は大きかったと思う。ドラマでも牢内で筆と硯を望んだ場面があるが、松陰は書き魔で、わずか30年で論策、日記、書簡、詩歌に至る膨大な分量の著述を残した。各場面は絵にならないから写されないが、藩校明倫館や久坂らの手で、撲夷のバイブルとして松陰思想が伝播され、藩内に限らず当時の有志に読まれた。

藩では松陰の神格化が進み、松陰の名前を使えば正義になった。その久坂は禁門の変で毛利藩の失地回復を図るが敗走し、鷹司邸で切腹25歳。庶民でも入れる奇兵隊を結成した高杉晋作は3ヶ月で総督を辞めて政治に奔走したが1868年、下関で病没29歳。

まじめな狂気が毛利藩を動かした。松陰の思想はある意味過激で矛盾していたが、そのひたむきさが松陰門下生の共感を得て、維新のエネルギ―として燃えたのではない。目の前に松陰が現れたらその熱情で皆が魂を奪われる人物だったのだろう。その長州藩は幕末維新の戦いで約2000人の犠牲者を出した。

私が愛した街 14回

変貌する渋谷
何処へ向かって歩いて行くのだろうか

駅前交差点を眺めていると、薙めくように歩いて行く多くの人々に眼が眩み、交差点に足を踏み入れる事に躊躇いを覚えるようだ。人々は何処から来て、何処へ消えて

行くのだろうか。江戸時代、赤坂御門を起点に、大山詣での為に大山街道が整備されたが、街道は国道「246」に姿を変え、青山を抜け、渋谷を越えて、大山に向かって

走っている。渋谷



渋谷駅前交差点

川と宇田川が合流する、宮益坂と道玄坂の谷間が、今の交差点だが、川は暗渠となり、川の流れが、人の流れに変わった。交差点の東から東南に掛けて、幾つもの大学や中学・高校が並び、文教地区を形成し、雑踏から直ぐ其処の西北には、閑静な高級住宅街の松濤町が控え、鍋島松濤公園に、紀州徳川

藩と鍋島藩の香りが漂っているようだ。

渋谷は、歴史の流れが刻み込まれた街であり、鎌倉とも縁がある。渋谷の氏神である



金王八幡神社 (東京 渋谷)

金王八幡神社には、渋谷城の痕跡が残され、城主渋谷重家の長男金丸は成人して土佐坊昌俊(しょうしゅん)を名乗り、源義朝・頼朝の郎党として信頼を得た勇猛で信義を重んじる武者だった事から、神社に名前が冠された。鎌倉の宝戒寺の門前近くに、屋敷

跡が残され、頼朝の、京都に居た義経追討の命に、御家人達の動きが鈍かった時、昌俊が、討ち死に覚悟で買って出て、頼朝を支えた。御家人和田義盛は北条義時に滅ぼされるが、家来の大和田太郎道玄が鎌倉から逃げ、野盗に身を窺し隠れ住んだのが道玄坂で、道玄坂の由来となった。二人の異なった性格の鎌倉武士が、渋谷と鎌倉を結び付けている。

戦後、渋谷は闇市等で荒んでいたが、道玄坂を上り始めた処に恋文横丁があり、占領軍の一時の恋人の役割を演じた女性達の、夢い夢を託された恋文の代筆業が店を構えていた。更に上っていくと、百軒店(だな)があり、「テアトロ」と冠された3軒の「素敵」な洋画館が上映する映画が、舶来の雰囲気醸し出し、観客を魅了した。しかしながら、これらの街に接するうちに、円山町と呼ばれる一画があり、江戸時代の宿場町が、花街に変わったが、慶應を卒業し、東電に勤めていた女性が、夜に身を鬻ぎ、何者かに殺された事件は、遠く18年前の出来事だった。明

と暗の両面の顔を現すのも、しばしば示す渋谷の表情だ。

五島慶太(東急)と堤康次郎(西武)の「戦争」で、高度成長期には若者を奪い合うようにしながら百貨店が拡大し、店の装いを変えたが、北側の代々木方向に、NHKがやって来て、渋谷を一層、若者の街へと変貌させた。交通機関も、JR山手線、地下鉄、田園都市線、井の頭線が入り込み、JRや地下鉄も拡張され、関東一円へのアクセスが便利となった。渋谷は今も落ち着きのない変化の埧塙(ぼり)にあり、オリンピック時には一層の混雑が予想されるが、2027年を目指して再開発が進み、代官山への散歩道も建設され、駅も超高層ビルに姿を変える。渋谷の顔として期待され移されて来た岡本太郎の『明日の神話』の壁画だが、時に追われ、先を急ぐ若者は、あまり関心を示さないようだ。壁画の傍らを急ぐ若者達は、渋谷の街と共に何処へ向かって歩いて行くのだろうか。

家庭で
できる
健康
味アミノ酸
オーミロカズミ

年末年始に初めてベトナムに行く来ました。美味しいと評判のベトナム料理♡
到着して一番に食べたのは、有名なフォー(米粉のうどん)と揚げ春巻です。アジアの料理は
みなスパイシーかと思いきや、どちらとも淡口で日本人好みのやさしい味でした。

ネン(ベトナム風揚げ春巻)

■材料(2〜3人前)

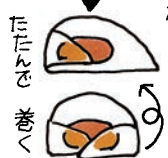
- ・ライスペーパー(生春巻の皮) 20枚くらい
- ・米粉の類(ビーフンでOK) ひとり分くらい
- ・豚ミンチ 200g
- ・しいたけ 1, 2枚
- ・にんじん 1/2厚
- ・フリーズレタス 1/2個
- ・ペペリーフ 1袋
- ・大葉 10枚
- ・卵 小1個
- ・きんぴら 1枚



※ベトナム料理に欠かせない香草、
日本で購入するのは難しいので、
市販のペペリーフや香草類を
盛り上げましょう。
本場ではシント、バジル、コリアンダー、
大葉、ドクダミが入っています。
ドクダミって、食べられるんですよ。

■作り方

- ①米粉の麺をゆがいてもどいておく。
- ②しいたけ、きくらげ、にんじんをみじん切りにし、塩コショウした豚ミンチと卵を加えてよく混ぜる。
- ③ライスペーパーを軽く水にくぐらせて
適当な大きさに切り、(うちでは半分)
②の具を包む。
- ④③を油で揚げる。↓ネンの完成!



■食べ方

- ①フリーズレタス、ペペリーフ、大葉を水洗いし、ザルに上げておく。
 - ②ライスペーパーを食べる都度水にくぐらせて(2分くらい)柔らかくする。フリーズレタスを敷く。
 - ③その上に①の麺、④の春巻(ネン)をのせて香草をのせて包み、タレをつけていただく。
- ※タレは魚醤と酢と2種類出してくれます。どちらも水でうすめてあります。ポン酢で食べても美味しいよ。



ちょっと聞いて

40年来の疑問が解けた

この言葉を聞いてから40年近くもたつというのに、今も耳に残る一節がある。「エル・プエブロ・ウニード・ハマセーラ・ベンシード!」、加藤登紀子の歌だったか、間奏中に入るフレーズだったと思う。意味は分からなくてもイントネーションも抜群、カッコよく、おまけに強い意志の力を感じさせるものだった。一体、何と言ってるのか、文字でなく耳だけで聞き取ったというのも不思議だが。つい最近、これはスペイン語



大阪の反骨ここにあり

天神祭の船渡御の舞台となる大川。蓮池でタナゴを釣っていたおじさんに聞いた話だ。藤田男爵邸の近くにある、か細い一本の桜の木に囲いがしてある。同じような大きさでも他の木は補強用の添え木のみ。「何でこれだけ囲ってるかわかりませんか?」、興味をひかれた。「何年か前に小泉首相が来た時に植樹した桜や」、ああ、だから柵してあるんやね。

傑作だったのは、そのあとの話。「植樹の時、警備が人を通してさんよう、ここを通ったらいけません。いうんや。剛の者がおつて、なんでや、わしの犬がここ、行きたいゆうとるねん」と唾然とする人々を尻目に、さつさと何事もないうように通っていきよつてん」と。腹を抱えて笑いたくなつた。

南から挟撃。革命を成し遂げた。その時に歌われた革命歌の一節だという。以来、ラテンアメリカのスペイン語圏では、革命が起きるたびに歌い続けられている歌で、チリの政変時にも歌われたという。

途中で音が消えてしまう英語とは異なり、スペイン語はイタリア語とともに、カタカナで書いた言葉がそのまま通じる言語なのだ実感した次第。相手がスペイン語のわかる日本人だったからだろうけど。

編集後記

「歴史はくり返す。初めは悲劇として、二度目は喜劇として」。今、安保関連法について、反対派は戦争法と言い、政府は平和法と「平和」を頭にのせ、「戦闘地域へ行く自衛隊員へのリスクはない」という。全く喜劇役者のセリフ。のち悲劇とならないため、憲法違反の「憲法」は「法ではない」との闘いを続けたい▼安倍ヨイショマン37人衆の勉強会で、「安保法案に反対する沖縄の2つの新聞はつぶせ」「米軍普天間飛行場は騒音がうるさいというが、商売になると周りに住んだのは誰か」という自民・議員や百田尚樹講師らのとんでもない発言は、「悪ガキのセリフ悲しき勉強会」だ▼橋下劇「大阪都構想」の幕は下りたが、賛否は1万票の僅差。勝利万々歳とは言えない。市民、労働者との連帯、つまり「歌を忘れたカナリヤ」の労組への批判とも受けとめねば▼ほんまに一難去つてまた一難の世ですね。生活は菩薩業です。生活記事を多用したいのですが、記事がオーバーフローの状況。一步一步階段を昇っていきます。

恭子の日記

田舎の挨拶

妹夫婦が長崎の島原というところに家を建てた。空気が良く、母も居る。会いに行つた。

田舎なのでゆったり庭もあり花々にいやされた。義理弟

が「今度はぜひパーベキューをしましょう」と言ってくれた。

私はご近所の方たちに迷惑をおかけするかも知れないので、ご挨拶に行かなくては、と言った。妹夫婦は笑い出した。「ここは田舎です。パーベキューをしていたら近所の人を持ち寄りで自由参加ですよ」と言った。私はビックリした。本当だろうか？

次の日、庭にいと通りす

がりの人に声をかけられた。親しく話されるので私はつきり知り合いと思いい、「妹達がお世話になってます」と丁寧にお辞儀をした。

「妹さんがおられるんですか。田舎はいいですよ」と言って行かれた。「え、知らない人？」私は面食らった。その後二人通って行かれたが、いずれも向こうの方から挨拶をされた。田舎を忘れてしまった私はショックを受け

た。昔々、東京に嫁いだばかりの頃、家の前を通る人に挨拶をして変な顔をされたことを思い出した。挨拶は悪いことではない。しかも自分のうちの前を通る人だけ挨拶してはいるが、ちゅうちよすることが多い。イヤホンをはずして「何でしょうか」と聞き直されるのも申し訳ない。知らない人なので黙って頭を下げたり、聞こえないふりで早歩きで通る人もいる。忙しい

し事件に巻き込まれないよう警戒もして当然のことになっている。でも田舎は何十年前と変わらず、温かい人と人の交流が続いている。都会は衣食住も豊かで刺激もある。私は大好きだ。だけど時々田舎に来て、本来の間らしさを取り戻すことがどんなに大切に癒しになるか改めて考えさせられた。

中田恭子さん略歴



「日本の美術全国選抜作家展」人気アーティスト
賞連続受賞／

「五島列島のマリア観音」

昔、神仏合体の頃、長崎の五島列島にはいち早くキリスト教も伝わった。素直で誰でも受け入れる長崎の人たちは宗教を分けたりせずに「マリア観音」という仏像を作り大切に祈った。鎖国の時も長崎だけは開いていてオランダ人、ポルトガル人、中国人をみな受け入れた。踏み絵、迫害、原爆を落とされてもなお、人を憎まず明るく前向きな土地で生まれたマリア観音。ここが私のルーツだということをも誇らしくさえ思っている。

エジプト、ジャスミン革命中に「日本×エジプト国際交流美術展」に出展／「国際平和美術展二〇一〇―in名古屋」・「国際平和美術展二〇一〇―inナイロビ国立博物館」・二〇一二年世界芸術競技inロンドンではクリスタルメダル受賞・二〇一三年シェーンブルン宮殿の「ネオジャポニズムinウィーン」など世界的にも幅広く活動する仏画家（画柳会理事）。